



2013年4月8日

熱膨張係数「ゼロ」のガラス ZERO™ を開発

日本電気硝子株式会社(本社:滋賀県大津市 社長:有岡雅行)は、従来品と比べ、熱膨張係数が極めて0(ゼロ)に近いガラス(製品名:ZERO™)の開発に成功しました。

ZERO™は、温度変化に対して伸び縮みすることがなく、寸法変動がほとんどありません。板状やブロック状での供給が可能で、エタロンなどの光学部品や光通信用波長選択スイッチ(WSS)モジュールの基板、精密スケールなどの機械工具、このほか厳密な熱的寸法安定性が求められる様々な部品の材料として幅広い用途展開が期待されます。

当社は今後、ZERO™の用途開発を積極的に推し進め、早期の事業化を目指してまいります。

■ 特性

- 平均熱膨張係数 : 0×10^{-7} /°C (−40~80°C)
(熱膨張係数とは、温度変化による物質の伸び縮みの割合を1°C当たりで示したものです。)
- 熱膨張曲線 : 次頁グラフご参照

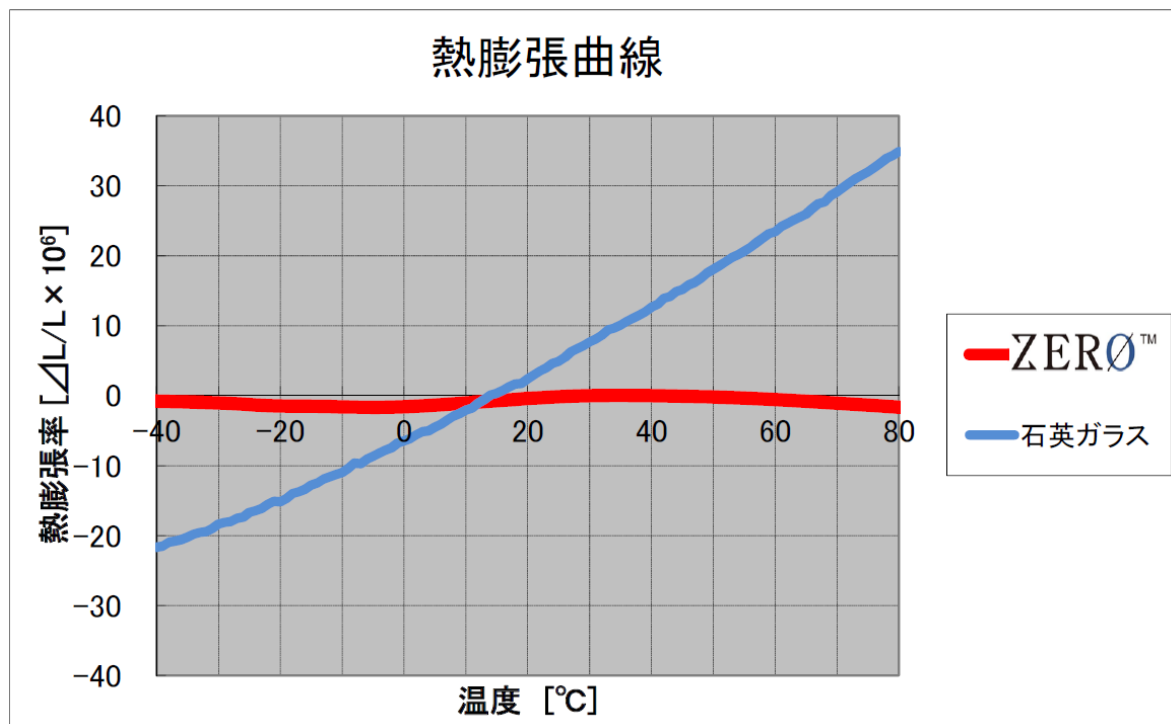
■ 最大寸法

- 板状 : 300×300×8mm
- ブロック状 : 50×50×50mm
(ご要望に合わせて対応します。)

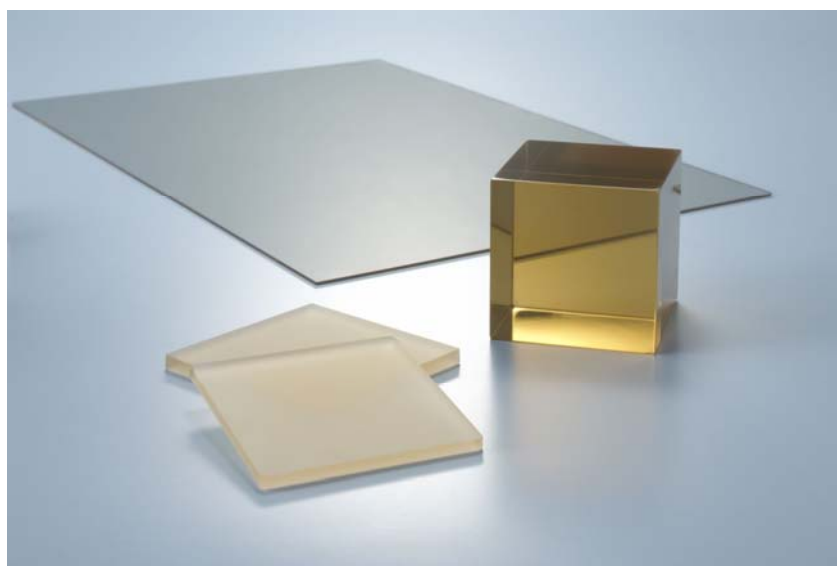
※ 当社は、Photonix 2013 内「第6回オプティクス&光センシング展(4/10-12、東京ビッグサイト)」にて、ZERO™を展示いたします。

以上

(熱膨張曲線)



(製品写真)



ゼロ膨張ガラスZEROTM

(リリース内容に関するお問い合わせ先)

日本電気硝子株式会社

総務部 広報担当 (松田) 電話：077-537-1861

(製品に関するお問い合わせ先)

電子部品事業本部 営業部 電話：077-537-8767